



尊き犠牲の精神は酬らる

福岡縣土木部長 坂本 一平

本縣に於て數年前より各市の失業救濟事業の一として、各市部の國道及府縣道路路面鋪裝工事の施工を斷行したのであるが、此の路面の改良に依つて享ける利益は只交通又は産業上のみでなく、社會各般の方面に互つて甚大なものがあると信する次第である、然るに折角立派に鋪裝された路面の掃除が不充分である爲め市内を通行する牛馬の糞或は横道から誘導された土砂は乾燥すれば風の爲に塵埃市中に捲き起り、降雨の際は鋪裝面は恰も滑らかな板の面に薄く泥を塗りたるかの調子で、一般通行者は勿論沿道店舗は尠からず迷惑を感じ、止を得ず沿道關係者は組合を組織し、相當の出費をなして、せめては塵芥を防ぐ爲めに徒らに撒水をするのみであつた。茲に於てか土木當局は路面の維持上又防塵の目的として、路面殊に側溝近くに吹き寄せる土砂塵を常に掃除し、又馬糞を掻き取り時々洗滌すれば無暗に撒水することは害あつて益なしと思料し、機會ある毎に鋪裝路面維持管理の要領を沿道市民に宣傳して居たのであつた。然るに各市共斯様な主旨に依つて沿道市民諸君が「奇麗な道路を裝ふことが立派な市民の誇である」の意味

で實行を遣つて頂けば結構だが之は逆も容易でない。然るに土木當局は莫大な費用と、骨折りをして作り上げた道路を何とかして何時迄も、立派に都市美を維持したいと思ひ努力して居るのである。

偶々小倉市田中豊三郎氏は嘗て本縣で例を見ない防塵組合の設立を唱道して能く其の目的の貫徹に努めたのでありまして、斯る組合が漸次各都市に於て勵行せらるるとせば、舗装路面は理想通り維持せらるることは、勿論交通衛生の上より誠に悦ばしい現象を招來するのみでなく、市街店舗の如きは直接甚大なる利益を享くることとなるのであります。

又道路の改良事業を遂行する上に於て、最も困難とすることは土地の買収と家屋の移轉問題である、折角改修の計畫は出来ても道路敷と成るべき土地や家屋の所有者が濫りに價格を高張つたり、又買収に應じない場合は土地收用法などで處置の方法はあるとしても、其の間工事の着手が遅延し爲に徒らに工事の進捗を妨げられ豫定の期間内に道路

改修完成せず、從て其の遷延の爲には費用の不足を來し、種々な方面に累を及ぼして、支障を招來することが屢々惹起するのである、何れの改良箇所にも、田川郡の原田岩吉氏の如き人物が在れば、事業の遂行は易々たるものだと思ふ隨て將來田中、原田兩氏の如き熱と誠意の人物が簇出し、尊き犠牲の精神の許に道路改良の爲め貢獻せられんことを痛感する次第である。

本縣に於ては二月十一日紀元節に於て、特に前記兩氏を土木功勞者として表彰をなしたのである、蓋し一般社會に反映する所、大なるものあるを信ず、今茲に表彰文並に功績概要を記すれば左の通りである。

表 彰 狀

小倉市寶町 田中豊三郎

夙ニ舗装路面ノ維持ニ意ヲ用キ防塵組合成立ニ盡瘁シ公共心ノ向上ニ資シタル功績顯著ニシテ他ノ模範ト爲スニ足ル仍テ茲ニ時計壹個ヲ授與シ之ヲ表彰ス

昭和九年二月十一日

福岡縣知事從四位勳三等 小栗 一雄

表 彰 狀

田川郡後藤寺町 原 田 岩 吉

夙ニ土木事業ニ盡瘁シタル功績顯著ニシテ他ノ模範ト爲ス
ニ足ル仍テ茲ニ時計壹個ヲ授與シ之ヲ表彰ス

昭和九年二月十一日

福岡縣知事從四位勳三等 小栗 一雄

功績の概要

小倉市寶町二四番地ノ一

田 中 豊 三 郎

明治十二年十二月四日生

資性剛直果斷にして氣概あり約二十年前山口縣大津郡日置村より小倉市に移住し煙草小賣商並肥料販賣を營み家庭は至て圓滿なり夙に其の町の衛生組合長となり又小倉市衛生組合聯合會評議員に擧げられ衛生思想の向上啓發に力を注ぐこと年久しく昭和五年度より縣に於て國道の鋪裝工事を施行するや路面に遺棄する牛馬糞や其他の塵芥は吹き捲く

る風に煽られて通行者に與ふる精神上物質上の障害尠からざるのみならず沿道の商家商品に對し損耗を來すこと夥しき爲め各人は之を防がんとして唯濫りに撒水を施すのみなるを以て塵芥土砂は益々集積せられ砂利道に勝る困難を感ずるに至り一面鋪裝路面の保持上には大なる支障を招來し衛生上思想上の影響亦尠からざるを痛感し氏は先づ家族一同をして箒を手に我庭園を清掃するが如く自宅の前面は勿論附近の塵芥土砂を除却掃除に努めて範を示し一面防塵方法に就き日夜儻心遂には小倉土木管區事務所と市當局の指導後援を得て町内各戸に其の必要を説き道路の愛護心と衛生思想を鼓吹し遂に昭和六年六月寶町、大阪町、米町、鳥町、京町衛生組合協會なるものを設立し會の經費は沿道各戸の負擔金其他寄附金及市補助金等を以て之に充て砂津橋勝山橋間の國道に日々數名の人夫を出し之か掃除を勵行するに至れり其の効果多大なるを認め氏は更に他の町の衛生組合長並組合員に其の必要を宣傳懇懇至らざるなき結果今年十二月より砂津橋富野間に之が實施を見るに至り延て昭

和七年十一月よりは富野延命寺間に道路愛護美化組合の組織を見るに至り更に昭和八年十二月勝山橋以西の國道並府縣道小倉戸畑線に對する防塵協會成り茲に小倉市内の幹線鋪裝道路は遺憾なく防塵作業の施行せらるるに至りたるは全く氏の熱誠盡瘁の賜にして事茲に至るや氏は之を我事の如く喜び益々之が改善を企圖しつゝあり

今や小倉市内の道路が常に清掃せられて一般公衆衛生上思想善導上將又商品の保持上市街の美觀上に及ぼす影響多大なるものあるは言を俟たざる所にして日々清淨掃除は鋪裝路面の維持上最緊切なる事業にして其の顯著なる功績は方に賞揚に價するものあるを認め

功績の概要

田川郡後藤寺町九二三番地

原 田 岩 吉

明治十年九月十八日生

資性溫良謹直寡言にして約三十年前嘉穗郡内野村より後藤寺町に移住し醬油醸造業を營み常に商業道德を守り勤儉產

を治め夙に公共の志篤く大正十年五月全町會議員大正十二年七月全町土木委員に選ばれて今日に至れるものなるが滿期改選の都度辭退する程の謙遜人物にして清廉潔白なるは周知の事實なり而して其の事に當るや熱誠溢るゝが如く町内に於ける道路の改修に氏の關與せざるものなく事業遂行上に貢獻したるところ尠からず就中府縣道大隈後藤寺線と金田後藤寺線との改築交叉點が偶々自己居住の家屋に當りて之を移轉せざるべからざることを決定するや商業上の支障多大なるをも顧みず人に先して直に家屋の移轉土地の買収を承諾實行して範を示し他の所有者の土地買収並家屋移轉等に關し之が交渉の任に當るや誠意を披瀝して公共事業の重大なるを勸説日夜東奔西走所謂席の溫る暇なき有様にて如何なる難問題も氏の熱誠に動かされて解決せざることなく黒土泥濘膝を没する底の所謂炭坑町たる後藤寺町の惡道が明朗新裝の近代的道路の體裁を備ふるに至りたるは全く氏の力に俟つ所多大にして其の功績は擧げて賞揚するに足るものと認む